

アサリの見分け方・見つけ方

アサリがどこで「わく」のかを調べるためには、正しくアサリを見分けること、数をきちんと数えることが大切です。アサリの他に、シオフキやバカガイなど形の似ている貝が同じような場所に住んでいるので、それぞれの貝の特徴を覚えて、見分けてください。小さな稚貝は、砂粒の中に紛れています。バットなどに広げて小さなアサリも探し出してください。



アサリの見分け方教室の開催案内

アサリの見分け方に自信がない、アサリの調査方法を詳しく勉強したいという方を対象に、アサリの見分け方、干潟の生物の観察調査のやり方を学ぶ「アサリの見分け方教室」を開催します。開催日の詳細や参加の申し込みについては、ホームページを見ていただくか、事務局にお問い合わせください。

問い合わせ・調査票の送付先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室 岡田（おかだ）
〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1
e-mail : ysk.nil-asari-wakuwaku@gxb.mlit.go.jp 電話 : 046-844-5023
<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/asari/index.html>

江戸前アサリ

「わくわく」調査への参加をお願いします

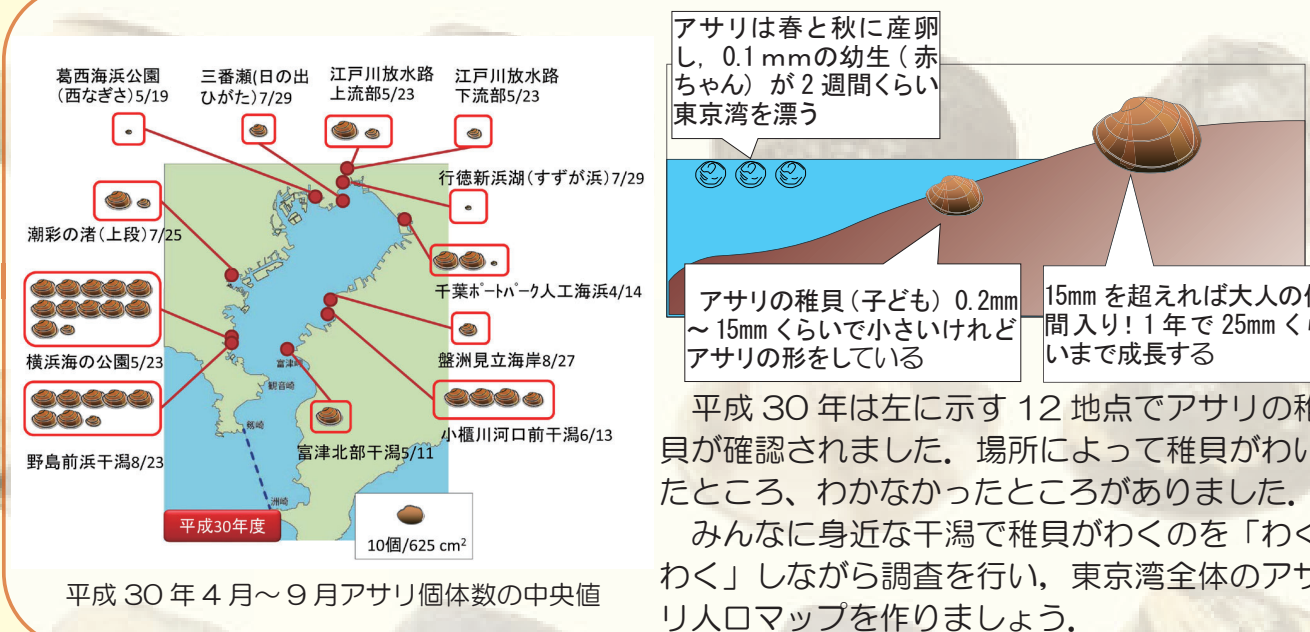
アサリは潮干狩りでおなじみの江戸前の代表的生物です。でも最近では少なくなって来て、干潟でもほとんど見つからないところもあります。なぜでしょう？

アサリは子供の時はプランクトン幼生として東京湾を漂って生活しています。この間にあちらこちらに流されて行くので、どこにたどり着くかは潮の流れまかせです。生まれてから2週間くらいで干潟に降りて、貝として生活を始めます。ですからそのときにたどり着いた干潟でアサリの稚貝が「わく」のです。アサリの子供が流れ着かない干潟ではアサリは「わかない」のです。

アサリの幼生がどのように流され、どこにたどり着くかはよく分かっていません。その時の潮の流れは風などの気象にも影響され、東京湾で発達する貧酸素水や青潮の発生にも影響されます。みんなでいろいろな干潟でアサリの稚貝を見つけて下さい。みなさまの報告を集めて江戸前アサリがいつどこでわくのかを調べ、その情報をもとアサリが東京湾中で毎年わくようにしたいと思います。潮干狩りや海辺に遊びに行ったときにアサリの稚貝の調査をしてください。平成26年から調査を開始しており、毎年の調査期間は4月から9月末までです。みなさまの参加を期待します。

主催：東京湾再生官民連携フォーラム
東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム

協力：東邦大学理学部東京湾生態系研究センター

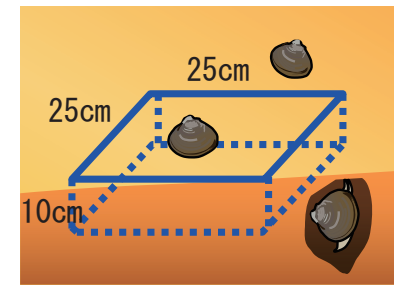


問い合わせ・調査票の送付先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室 岡田（おかだ）
〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1
e-mail : ysk.nil-asari-wakuwaku@gxb.mlit.go.jp 電話 : 046-844-5023
<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/asari/index.html>

調査方法

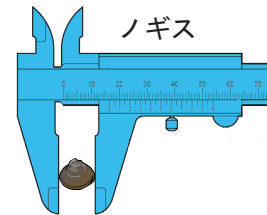
1. 干潮時に干潟に行きます。干潮時に干上がる場所で調査してください。保護者や指導者は潮の干満や天候など十分に気を付けて安全をはかって下さい。
2. もし、GPSを持っていたら北緯と東経を記録して下さい。
3. **25×25cm**の枠を決める線を、定規を使って砂の上に書いて下さい。
4. 移植ゴテ（片手スコップ）で枠の中の砂を**10cm**くらいの深さまで掘って、ふるいに入れて下さい。ふるいは家庭用のプラスチックのザル（ザルの穴の大きさは2mmくらい）が使いやすいです。
5. 砂を海水中でふるって、ふるいの中にあるアサリを集めます。
6. アサリの横幅をノギス（100円均一ショップで十分）ではかります。
7. 1つの枠の中にいたアサリを全部、横幅1mmごと（例えば3.6mmは3mm、17.2mmは17mm）に何個体いるか調査用紙に記録して下さい。
8. これを一か所で3回繰り返します。あまりいなくてもかまいません。それも大切な記録です。
9. 計り終わった20mm以下の小さなアサリは資源保護のため元に放して下さい。
10. 記録用紙を事務局に送って下さい。記録を集めて事務局が解析し、発表します。



アサリは大きくなると砂に潜るので、深さ10cmくらいの土を取ってください。



ふるいにたくさんの砂を入れると作業が大変です。少しずつふるうのがポイントです。海水のところまで運ぶのにバケツがあると便利です。



ノギスを使ってアサリの大きさを測ります。アサリの殻の一番幅の大きなところをはさみます。

江戸前アサリ「わくわく」調査シート（記入例）

日にち・時間	令和 年 X月 X日・開始 10:00～終了 12:00			
天気・気温	晴, くもり, 雨 ・気温 25 度			
調査場所	〇〇干潟, (北緯 度, 東経 度)			
土の状況	じゃりっぽい, 砂っぽい, 泥っぽい,			
土の色・におい	黒い, 黒くない, ・におう, におわない			
ふるいの目	〇 mm			
調査した人	小学生未満, 小学生, 中学生, 高校生, 大人			
結果	大きさ	1回目	2回目	3回目
3.6mmは3mmに数えます	1 mm (0～1.9 mm)	〇個	〇個	〇個
	2 mm (2～2.9 mm)	〇個		
	3 mm (3～3.9 mm)	〇個		
メモ	アサリの他にゴカイや巻き貝, カニが見つかった。			

□関連情報の提供を希望される方のみ記入してください。

名前	干潟 アサリ子
連絡先	電話：046-844-5023, E-mail：***@ysk.nilim.go.jp

情報提供の他、調査結果について問い合わせることがあります

江戸前アサリ「わくわく」調査シート

日にち・時間	令和 年 月 日・開始 : ~終了 :						
天気・気温	晴, くもり, 雨 ・気温 度						
調査場所	, (北緯 度, 東経 度)						
土の状況	じゃりっぽい, 砂っぽい, 泥っぽい,						
土の色・におい	黒い, 黒くない, ・におう, におわない						
ふるいの目	mm						
調査した人	小学生未満, 小学生, 中学生, 高校生, 大人						
結果							
大きさ	1回目	2回目	3回目	大きさ	1回目	2回目	3回目
1 mm (0～1.9 mm)				21 mm			
2 mm (2～2.9 mm)				22 mm			
3 mm (3～3.9 mm)				23 mm			
4 mm (4～4.9 mm)				24 mm			
5 mm (5～5.9 mm)				25 mm			
6 mm (6～6.9 mm)				26 mm			
7 mm (7～7.9 mm)				27 mm			
8 mm (8～8.9 mm)				28 mm			
9 mm (9～9.9 mm)				29 mm			
10 mm (10～10.9 mm)				30 mm			
11 mm (11～11.9 mm)							
12 mm (12～12.9 mm)							
13 mm (13～13.9 mm)							
14 mm (14～14.9 mm)							
15 mm (15～15.9 mm)							
16 mm (16～16.9 mm)							
17 mm (17～17.9 mm)							
18 mm (18～18.9 mm)							
19 mm (19～19.9 mm)							
20 mm (20～20.9 mm)							
メモ							

□関連情報の提供を希望される方のみ記入してください。

名前	
連絡先	